

保護者アンケート結果

平成25年6月13日
学校評価検討委員会

P T A総会（5月11日）に出席した保護者対象に、アンケートを実施した。

- 1 本校は、今年度で統合して3年目を迎えています。
松戸秋山高校や松戸矢切高校の頃と比べて、変化したと思われる点（よくも悪くも）があれば、お書きください。
- 2 今後、本校が保護者や地域と連携して生徒を育成するために、おこなうことが可能な取組があればお書きください。

<1について>

- ・生徒の雰囲気や朝の登校のようす。統合してだんだんよくなってきた。
- ・よい学校になりつつあると思う。生徒の姿も変わってきた。
- ・生徒の雰囲気がとてもよくなった。授業に取り組む生徒の姿もそうだが、先生達も変わったと思う。あいさつができる生徒が増えた。よくなった理由は、校長先生と先生方の指導。
- ・授業態度が落ち着き、集中して取り組んでいるように感じる。
- ・子どもたちの授業態度が落ち着き、集中して取り組んでいる。校長先生をはじめ、先生方の日々のご指導の成果だと思う。感謝している。
- ・子どもたちのやる気などは、よくなったのでは。
- ・松戸秋山、矢切がどのような学校だったかわからないが、松戸向陽高校は、環境等よい学校だと思う。
- ・生徒が礼儀正しく挨拶してくれる。校長をはじめ、先生方の「よい学校にしたい」という思いが生徒に伝わっている。
- ・変化したかどうかはわからないが、先生方が努力されていて、とてもありがたいと感じる。
- ・生徒の身だしなみがバツグンによくなった。授業態度もすばらしくなった。校長をはじめとする先生方の粘り強い指導が身をむすんだものと思う。ありがたい。

<2について>

- ・校外学習や修学旅行などは制服を着用するのがよいのでは。制服を着る＝学校の名前を背負うことである。
- ・福祉設備が整っているなので、活用してほしい。福祉を通じて、心の豊かさを育ててほしい。
- ・保護者の顔が見えない生徒さんが多く、学校の様子がまったくわからない方もいらっしゃるのでは、保護者参加型の集まりがあるとよい。
- ・学校へ足を運んでもらう。学校の周りの清掃。
- ・各学年、1年に1回程度、生徒と保護者同席で、進路について話す機会があるとよい。より、進路に対しての取組方がよくなるのでは。
- ・ボランティア活動。部活動の活性化。
- ・登下校時のあいさつ運動等。
- ・保護者や地域の方が気軽に来校できるイベント等があるとよい。
- ・学校のブログは毎日楽しくみている。学校の情報がわかり、とてもありがたい。
- ・地域の方が学校で話す機会をつくる。
- ・保護者、職員の話し合い。
- ・進路指導の際、地域で仕事など、実際に見学させてもらったり、照会してもらったりする機会があれば、仕事の内容や仕事をするこの意味がわかるのでは。
- ・学校だけに任せるのではなく、親も出来るかぎり協力するのはあたりまえ。
- ・地域、施設のボランティア、地域の祭りに参加する。